



日本共産党  
市議会議員団  
週刊議会報告  
【発行】  
岡野長寿  
(0845-22-2596)  
三浦とおる  
(0848-48-5044)

# 「3小学校統合やむ無し」の論拠崩れる！

## — 岡野長寿市議が文教委員会で追及 —

岡野市議は「土堂小の保護者の願いは耐震工事を行って学校を存続させて欲しいと言うこと、学校としての運営をしながらの耐震補強は困難だと言うのなら、仮設校舎を他の地につくりければいいだけの話だ」と追及。

土砂災害の多くは事前に予測可能、地震による危険まで言うのなら、校舎の耐震工事だけでなく、急傾斜地の崩落防止工事が必要だ。しかもそれは土堂小にかぎった話ではなく、指定されたすべての学校(62.5%)で対応しなければならぬという問題だ。

従って、危険区域指定があるから、統合やむなしというのを通らない。頭を冷やして、どう

したら保護者・児童の願いに答えられるか、真摯に検討すべきだと指摘しました。

また、育友会は統合絶対反対で運動を続けている。合意形成なしに、新年度予算に統合を前提とする予算をよもや出すことはないでしょうねと確認。市教委は今答えられないと不誠実な態度を示しました。

同市議は地震による急傾斜地崩壊から子ども達を守るためには、①擁壁工②のり面保護工③落石防護柵④フオレストベンチ工などがあ

り、危険区域に指定されたすべての学校で順次計画策定が必要と指摘しました。

**合意形成なしの暴走は許さない。統合前提の予算提案はないと確認できるか！**

市教委は、3小学校(土堂・長江・久保)統合案は、保護者の願いには添えないかもしれないが、児童の安全を最優先して、苦渋の決断としてこの方針を決めた」と述べ、土堂・長江小の校舎が新耐震基準に達していないことに加え、土砂災害危険区域に指定されたことを最大の方針転換の理由として強調していました。

しかし、岡野市議の質疑で、土砂災害は、尾道の場合、ほとんどは、大雨によるものであることが明らかになり、それは休校などの措置をとれば回避できること、また、危険区域の指定を受けているのは、統合対象校だけでないことも判明し、最後に、教育長も、「生徒数の減少なども判断の一つ」と述べるなど、事実上「やむなし論」の論拠が崩れたことを認めました。

今後、保護者の願いに沿った打開策を求め、冷静な議論が必要とのスタート地点に立つことができそうです。

### 「地域から本屋さんが消えてしまっているのか」— 公立図書館指定管理で質疑 —

尾道市議会議員各位 2019,12,5  
因島図書館と地域の書店との関係について(要望書)

因島図書サービス  
代表 楠見芳教

・・・因島図書館の蔵書(書籍)は因島の書店を経由して納品する仕組み・・・しかし、4年前・・・尾道市内の書籍はすべて「啓文社」による独占的な書籍の購入が行われる状態となっております。・・・以前の仕組みに戻していただきたいと強く要望させていただきます。

岡野市議は文教委員会で、5つの公立図書館を1つの民間企業体が一手に引き受け管理することに疑問をもちました。

また、NTTグループ・NTT新和ビルサービス共同での実績について質問し、管理者から啓

文社への書籍の発注率はいくらか、新和ビルサービスへの清掃業務の発注率はいくらかと質しました。担当課長は「明言できませんでしたが、ほぼ100%の発注率」となっていることを認め、「これでは選定基準に地域経済への配慮と記載されていない」と矛盾しないか」と質しました。

担当課長は「議員指摘の点は宿題として持ち帰らせて頂きたい」と、今後の改善の余地を残す答弁を行いました。(上は質問のきっかけになった要望書)

### 家庭保育園を守れ。補助金の増額を— 三浦とおる市議が民生委員会で質疑 —

家庭保育園と認可保育園の補助金(委託料)

年齢	家庭保育園補助金	認可保育園委託料
0歳児	25000円	約240000円
1歳児	7500円	約160000円
2歳児	7500円	約160000円
3歳児	2250円	約100000円
4歳児	1500円	約94000円
5歳児	1500円	約94000円

三浦市議は、民生委員会で尾道市の家庭保育園への補助金の増額を求める質疑を行いました。

尾道市の家庭保育園(無認可の保育園)は他市の無認可保育園と違い、尾道市の求める保育指針に基づいて日々の記録や週案を認可保育園と同様に提出して運営されていることや保育料も企業型の保育園のように営利追求型ではなく、地域密着型で運営されている現状から、家庭保育園への補助金を増額するよう求めました。その質疑の中で家庭保育園への補助金と認可保育園への委託料に大きな差があることを答弁で引き出して(上記の表を参照)「この補助金の額では経営が成り立たないのではないか」と家庭保育園の保育士の賃金実態や経営状態を尾道市としてどのように受け止めるかを質した中で担当課より改善に向け、深く受け止めていることを確認させていきました。